【社内用】生成AI_Photoshopについて

オンラインなので、Fireflyの無料版等で2か月目なので、作品の素材集めをしてもらってください。 ※アカウント登録が必要なのであくまでも自主的に!

・教室では、Photoshopを使って生成AIで試しますよの説明

・デモンストレーション

・作品の為の素材集めについて軽い説明(講師よりお願いします。)

・デモンストレーション

・黙々と素材集め時間

※自前のPhotoshopを持っている方については、気にせず自由にやってもらってください

参考サイト

Adobe Firefly公式サイト: <u>https://www.adobe.com/jp/products/firefly.html</u>

Adobe Fireflyの使い方解説 https://schoo.jp/matome/article/1737 Adobeヘルプセンター: 生成塗りつぶしで Photoshop の未来を体験 - https://helpx.adobe.com/jp/photoshop/using/generative-fill.html

321web: 【AI機能】PhotoshopのAI画像生成機能の使い方【Generative Fill/生成塗りつぶし】 - <u>https://321web.link/generative-fill/</u>

【Photoshop】初心者向け:生成AIを活用しよう | アドビ公式 https://www.youtube.com/watch?v=Jwk3vNzXEKs

ここの強調お願いします。 (2024年8月現在)

教室でPhotoshopで生成AI ※有料を使うポイント!

【基本テクニック】生成AIでできること!

・生成塗りつぶし

選択範囲を指定し、テキストで生成したい内容を入力することで、その 範囲を新しい画像で塗りつぶすことができます。例えば、空の部分を雲 や星に変えたり、背景を完全に異なるものに置き換えたりできます。

※ウィンドウから「コンテキストバー」

https://www.youtube.com/watch?v=0ezQgmyHtBs

·生成拡張

画像の端を自然に拡張したり、既存の要素を拡大したりできます。例えば、写真の構図を変更したり、画像のサイズを大きくしたりできます。

※ウィンドウから「コンテキストバー」+カンバスサイズの調整

https://www.youtube.com/watch?v=dz2ArT3Ph4g

生成AIの使い方

1.範囲を選択: 生成したい範囲を、選択ツールを使って選択します。

2.生成機能を選択:コンテキストタスクバーから「生成塗りつぶし」または「生成拡張」を選択します。

3.プロンプトを入力:テキストボックスに、生成したい内容を英語で入力します。

生成

「生成」ボタンをクリックすると、AIがプロンプトに基づいて画像を生成します。

調整

生成された画像を調整したい場合は、ブラシツールなどを使って微調整を行います。

より良いプロンプトを作成するコツ

・具体的に記述

「猫」ではなく「可愛い猫」、「宇宙」ではなく「星がたくさんある宇宙」など、より具体的な言葉を使うことで、より意図した通りの結果が得られます。

・スタイルを指定

「水彩画風」「鉛筆画風」など、表現したいスタイルを指定することで、雰囲気のある画像を作成できます。

・複数のキーワードを組み合わせる

「カラフルな花畑」「レトロな未来都市」など、複数のキーワードを組み合わせることで、より複雑なイメージを表現できます。

注意点

生成される画像の品質: プロンプトの表現力や、Photoshopのバージョン、マシンスペックなどによって、生成される画像の品質は異なります。 著作権: 生成された画像の著作権は、Adobeの利用規約に基づきます。商用利用する場合には、必ず利用規約を確認してください。

Adobeの生成AIは商用利用

一般に、生成 AI 機能からの出力は商業的に使用できます。 ただし、アドビが生成 AI 機能のベータ版を商用利用できないと製品またはその他の場所で指定した場合、そのベータ版 機能から生成された出力は個人使用のみを目的としており、商用利用することはできません。

その他

生成AIは進化し続けています: 定期的にアップデートが行われ、より高度な機能が追加され可能性があります。 他のAdobe製品との連携: Illustratorなど、他のAdobe製品と連携することで、より幅広いクリエイティブ作業が可能になります。

※Photoshop(フォトショップ)の生成AIは、バージョン25.0(2023年9月13日)から実装されました。